

シリーズ 防災・思いの丈

今回は「大切な人を守る能力」について考えてみましょう。

「防災とは自分の大切な人を守ること！」よく勘違いされているのが「災害の為に防災」を行っているところがあります。屁理屈を言うな！とお叱りをうけるかも知れませんが、ここが大事なポイントです。

災害に備える→その為に色々な訓練や活動をする→自分の地域には災害が来ない→段々と活動が縮小する→もう大丈夫かな→天災は忘れた頃にやって来る！

これは「何のためにやるのか」が曖昧で、自分の守るものを定義せずに活動をした為に起こる「不継続防災」です。重要なことはやはり「継続する防災」です。その為に何を守るのかをしっかりと自分で定義しておくことが重要です。

大切な命を狙う「災い」は、天災・犯罪・事故と色々な形を変えて襲ってきます。それらから自分の大切な人を守ることに「この人を守る為の守り方を学ぼう」とならなければいけません。この人を守る為にはどうすれば良いのかを学び想定する。これが「防災」なのです。天災だけをターゲットにするのでは無く「災い」すべてに対峙する総合的活動を行うことが、**本当の防災活動**なのです。

まずは「天災」について考えてみましょう。天災とは、自然災害と云われるもので「**暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火**その他の異常な自然現象により生ずる被害（被災者生活再建支援法 2 条 1 号に定義）」のことです。様々なタイプがある為守り方や備え方も多様です。でも、これらに対峙する共通の作法があります。それは「**自分には何が襲ってくるのかを把握しておく**」ということです。山間部は、地震による津波や台風による高潮に対しての知識は持つ必要があっても、普段の生活の中では津波や高潮に対して備えをしておく必要はありません。しかし沿岸部は、地震では津波、台風では高潮に対して、普段から学び備えておく必要があります。**自分の所でどの様なことが起こると災害となるのかを学び備えておくことが必要**です。

次に「犯罪」について考えてみましょう。我々に忍び寄る犯罪者は、手を替え品を替え、人の油断する隙間を狙っています。特に守り手が少ない人や時間をつけて襲ってきます。子ども達への犯罪行為では「誘拐、わいせつ行為、暴行・恐喝」。高齢者へは「オレオレ詐欺、支払え詐欺、貸します詐欺、もうかります詐欺、紹介します詐欺」等の特殊詐欺。女性へは「暴力、強姦・強制わいせつ、痴漢、窃盗（ひったくり）



ストーカー行為」等、弱者を狙うという**共通性**があります。これらから身を守り、備える為には非常に厄介なことなのかも知れませんが、でも、それらに対峙するには「**絶対に一人で対応しない**」ということです。まずは恥ずかしがらず、周りの人や警察に相談する。その為に「**少しの勇気を持つ**」これが重要なこととなります。自分の身を守る為に、普段からコミュニティに参画し、地域の中で知り合いを増やし「**気を付けてね。いってらっしゃい。お帰りなさい**」と声を掛けあうことで強い犯罪抑制になります。挨拶し合って、**お互いがお互いを守り合う仕組みづくり**が大切な防犯の備えなのです。しかし「挨拶をしない方が良い」と大きな勘違い身勝手な人がいるのも事実です。このような人は、何かが起こったときに口を揃えて同じことを云われています。『誰も教えてくれなかった』。伝え手が幾ら頑張っても「聞く気、聞く心を持たない人」に伝えることはできないのです。

次は「事故」です。事故は普段の生活とは切り離せないものです。一口に事故と云っても「**交通事故、天候事故、鉄道事故、航空事故、医療事故、火災事故、爆発事故、水難事故、海難事故**」等、事故と付くものは多様にあり、その中でも交通事故は日常の中で一番近くに存在する危険。自分が気をつけていても相手のあることが多く「**自分は気を付けてはいただけれど**」となる場合が多いようです。

しかし、大きな油断をして大事故となる場合もあります。「**車に乗ってもシートベルトを着用しない**」。シートベルトは命を守る大切な道具。運転者だけでは無く同乗者の命も守るものです。ところが着用しない人が多い。道路交通法第71条の3（普通自動車等の運転者の遵守事項）1『**運転者は、中略、座席ベルトを装着しないで自動車を運転してはならない**』。2『**運転者は座席ベルトを装着しない者を運転者席以外の乗車装置に乗車させて自動車を運転してはならない**』。3『**運転者は幼児用補助装置を使用しない幼児を乗車させて自動車を運転してはならない**』と規定されているにも関わらず、同乗者にシートベルト着用を促さない場合が多いのです。**高速道だけではなく、一般道も着用しなければなりません**。自分や同乗する大切な人の命はシートベルトで守れる確率は飛躍的にアップします。でも「**するかしんないかはあなた次第**」。同じく信号機を守ることも全く同じことが云えるのです。

このように考えると、天災も犯罪も事故も同じことが云えます。それは「**備える心をしっかり持つ**」と云うこと。今回は「備える心」です。

